

# 単元設定・個人評価のステップアップシートと成長

## (1) ステップアップシート

授業づくりのツールの一つとして、本シートを作成した。授業の単元を開始する前に授業者同士で共通理解を図る。

まず始めに、キャリア教育の視点から単元設定の理由について考える。

### キャリア教育の視点1

この単元での学習が、現在の学習や生活にどのようにつながると考えているか？

### キャリア教育の視点2

この単元での学習が、卒業後の生活や次の学年・学部での学習にどのようにつながると考えているか？

次に学部の系統性である。学部ごとの「特に育てたい力」を本年度の教育課程・努力目標をもとに一覧表にして、所属の学部欄を○で囲み、系統性をシート内でも確認できるようにした。

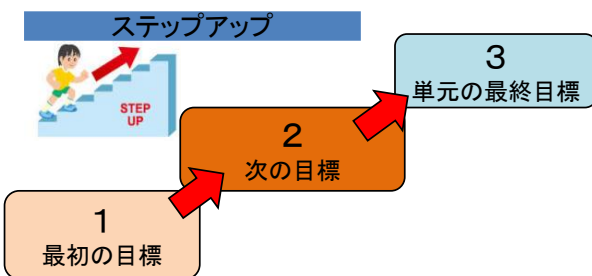
学部の系統性	学部ごとの「特に育てたい力」(H27教育課程・努力目標を参照)	※所属の学部欄を○で囲む。
小学部	基本的な生活習慣やあいさつ、約束を守る力	小学部
中学部	自分の自分を考える力 ・自分から考え分かって行動する力 ・自分から考え分かって表現する力	中学部
高校部	身に付けた力を再確認する力 将来的な生活を豊かにするために学習に取り組む力 社会参加や自立に向けて生活スキルを高める力	高校部

そして学習グループ全体のねらい（単元のねらい）を確認する。確実にステップを上げるようにねらいを設定するようにした。

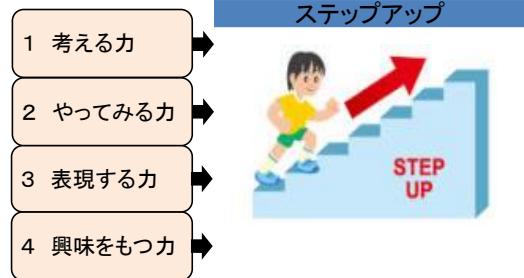
単元のねらい(学習グループ全体のねらい)の3ステップ	ステップ3は単元終了時に達成したい目標。
1 「できる」	3 「できる」
2 「できる」	
学習グループ全体の評価メモ	

ステップ1~3として、単元のねらいをできるだけ具体的に記入し、単元を進めながら学習グループ全体の成長や変化を捉え、記録に記入するようにした。そして、単元終了時には、どの程度ねらいが達成できたかを確認するようにした。

### 「学習グループの全体」の成長と評価 (スモールステップ)



共通する4つの観点からの個人の成長と評価



児童生徒	<単元における実態と強がり(特性)の把握>				<単元終了時に達成したい目標>	
	・得意なこと	・苦手なこと	・得意なこと	・得意なこと	個別の目標	「できる」
A	考える力	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
	やってみる力	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
	表現する力	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
	興味をもつ力	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)

このように、児童生徒一人一人のねらいと成長について、4つの観点から記録をとるようにした。さらに、単元についてと同様に、単元終了時にねらいの達成度について評価するようにした。

以下、単元終了時の評価のまとめ様式である。児童生徒の成長と有効な手だてについてまとめる。

児童生徒	単元終了時の振り返りシート 振り返りの内容	単元終了時に達成したい目標 達成の目標	単元での成長の様子(まとめ)	有物だと感じられる「手立て」	→目標の達成度: 約 %
1	考える力 本単元開始時「...」 本単元を通して「...」	「...」	「...」	「...」	
2	やってみる力 本単元開始時「...」 本単元を通して「...」	「...」	「...」	「...」	
3	表現する力 本単元開始時「...」 本単元を通して「...」	「...」	「...」	「...」	
4	興味をもつ力 本単元開始時「...」 本単元を通して「...」	「...」	「...」	「...」	

児童生徒	単元のねらい(学習グループ全体のねらい)の3ステップ	→目標の達成度: 約 %
A	3	94%
<p>※個人評価の「習得済」を参照して学習グループ全体としての習得済をまとめる。</p> <p>社会の一人としてたくましく、心豊かに生きる力</p> <p>行動に導く必要能力</p> <p>よく考えて自分から行動する力(分かる・考える・できる)</p> <p>1. 考える力 2. やってみる力</p> <p>3. 表現する力 4. 興味をもつ力</p>		

## (2) 4つの観点から見る児童生徒

### 徒の成長と有効な手だて

#### <小学部の例>

#### 1 考える力



単元開始当初

選んだ単語同士をつなげて文章を作ることが難しかった

成長や変化

単元を終了して

助詞(は、を)を使って文章を組み立てることができるようになった。

#### 3 表現する力



単元開始当初

教師の問いかけを受けて、あらすじを言うことができた。

成長や変化

単元を終了して

紙芝居の絵を見て、話を思い出しながら、一人で、簡単なあらすじを言うことができるようになった。

#### 4 興味をもつ力



単元開始当初

知らない話の紙芝居だと、興味なさそうにしていることが多かった。

成長や変化

単元を終了して

様々な物語に興味をもち、教師の読み聞かせを集中して聞くことができるようになった。



5W1Hカードの「が」「へ」を手がかりにしてしまうので、それが無くても文章を組み立てることができた。

#### 2 やってみる力



単元開始当初

単語の集まりが文章になることの理解が難しかった

成長や変化

単元を終了して

5W1Hカードを手がかりにしながら、文章を作ることができるようになった。

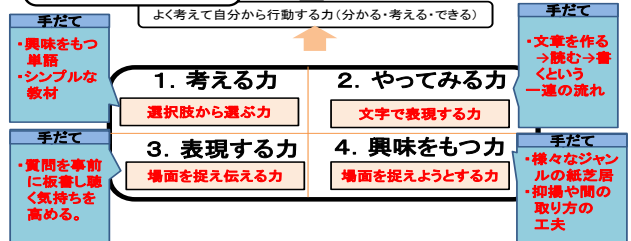


#### 有効な手だて

社会の一員としてたくましく、心豊かに生きる力

将来に渡って必要な力  
5W1Hを意識して、話したり書いたりして相手に伝える力

よく考えて自分から行動する力(分かる・考える・できる)



## < 中学部の例 >

### 1 考える力



単元開始当初

はかりをどこに置くか全く分からない。

単元を終了して

成長や変化

見本の写真を見て、はかり、トレーを正確な位置に置くことができた。



### 2 やってみる力



単元開始当初

見本のカードの数字とはかりの目盛りのどこを見れば良いか分からない。

単元を終了して

成長や変化

1回ごとに、はかりの目盛りを読み、見本のカードの数字を指さして確認することができた。

### 3 表現する力



単元開始当初

目標の50グラムにならなくても「できました」と言っていた。

単元を終了して

成長や変化

はかりの目盛りを読み、50グラムを目指して増やす・減らすことが少しずつ分かってきた。

### 4 興味をもつ力



単元開始当初

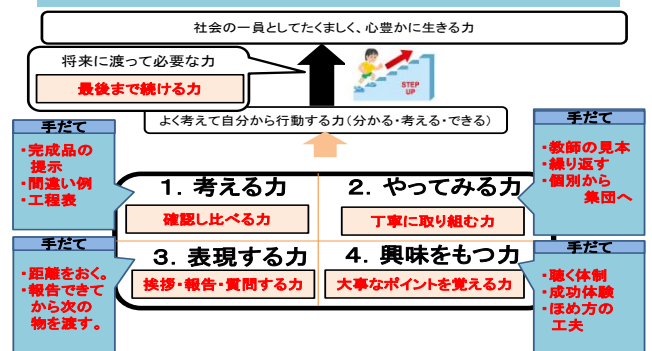
はかり作業で何をやるのかが分からない。

単元を終了して

成長や変化

輪ゴムを移動させて目盛りを50に合わせるということが分かってきた。

### 有効な手だての例





# <高等部木工班の例>

## 1 考える力



単元開始当初

作業内容がわからなくて、めんどくさいと言って消極的な様子



成長や変化

単元を終了して

作業内容を教師と一緒に  
選択できるようになった。

## 3 表現する力



単元開始当初

反省の前に、作業室から出て行ったり、  
体調不良を訴えたりした様子



成長や変化

単元を終了して

みんなの前で発表ができるようになり、  
毎回ではないものの、具体的な内容を  
伝えることができるようになった。

## 4 興味をもつ力



単元開始当初

細かいことは、めんどくさい様子



成長や変化

単元を終了して

手順を確認し、仕事を探すことが  
できるようになった。

1	やすりがけ
2	ボード付け
3	天板くぎうち
4	あしのみぞ(埋)

生徒名	作業内容	担当の先生
D さん	ボード付け	S 先生
T さん	やすりがけ	S 先生
N さん	天板くぎうち	M 先生
M さん	あしのみぞ(埋)	N 先生
M さん	あしのみぞ(埋)	N 先生

## 2 やってみる力



単元開始当初

号令係の時は、作業室にも入ろうとしない様子



成長や変化

単元を終了して

時間はかかるが、号令係の役割を  
果たすことができるようになった。



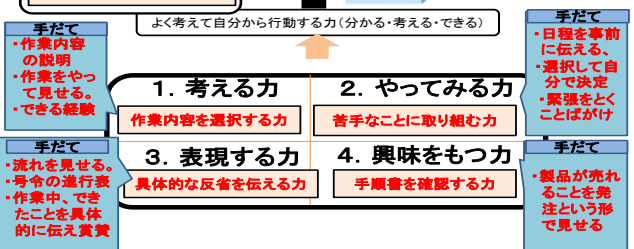
## 有効な手だて

社会の一員としてたくましく、心豊かに生きる力

将来に渡って必要な力

自分の役割を果たす力

よく考えて自分から行動する力(分かる・考える・できる)



# <高等部工芸班の例>

## 1 考える力



単元開始当初

既成の文章を書き写すだけ



成長や変化

単元を終了して

自分で考えて、言葉表現することができるようになった。

## 2 やってみる力



単元開始当初

新しいこと、やったことのない作業に対して消極的



成長や変化

単元を終了して

自分の役割を意識して取り組むことができるようになった。

## 3 表現する力



単元開始当初

尋ねられたことに対して答えるというコミュニケーションがほとんど



成長や変化

単元を終了して

自分の考えや思いを簡単な言葉で伝えることができるようになった。

## 4 興味をもつ力



単元開始当初

原稿作りに消極的



成長や変化

単元を終了して

原稿レイアウトに興味をもってできるようになった。



## 有効な手だて

社会の一員としてたくましく、心豊かに生きる力

将来に渡って必要な力

コミュニケーションをとる力

よく考えて自分から行動する力(分かる・考える・できる)

手だて  
・簡略化した原稿の準備  
・自分で付け加える原稿の準備

1. 考える力

場面に応じた言葉を考える力

2. やってみる力

自分の役割を意識して取り組む力

手だて  
・普段の授業や会話から気持ちを高める。

手だて  
・毎日の「新聞活動」を通し気持ちを表出の練習

3. 表現する力

自分の考えを伝える力

4. 興味をもつ力

原稿の作成に意欲的に取り組める力

手だて  
・好きな写真や好きな色の用紙を準備